



【アービタックス(Biweekly)+パクリタキセル療法について】



様

コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

			めやすの時間																														
薬の名前			作用																														
			1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
ボラミン注	過敏症を抑えるお薬です	30分																															
ファモチジン注																																	
デキサート注																																	
アービタックス注	抗がん剤です	2時間																															
パクリタキセル注	抗がん剤です	1時間																															
			デキサート注には、吐き気止めとしての作用もあります。 2回目から投与時間が短くなることがあります。  この週はお休みです。																														

*前立腺肥大症や閉塞隅角緑内障のある方はお知らせください。

😊 **治療による副作用**

注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目	
自覚症状	過敏症																														
		痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																													
	食欲不振・吐き気																														
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																													
	筋肉痛・関節痛																														
		肩や背中、腰や腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなることがあります。																													
	口内炎																														
	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																														
手足のしびれ																															
	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																														
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																															
	髪質が少し変わることもあります。治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																														
皮膚症状(皮疹、乾燥、爪囲炎など)																															
	にきびのような発疹ができたり、皮膚が乾燥してひび割れができることがあるので、保湿剤を使うなどして予防しましょう。																														
検査値	白血球減少																														
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいなどを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																													
	赤血球減少(貧血)																														
		貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																													
血小板減少																															
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざができたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																														
肝機能低下																															
	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																														



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 抗がん剤投与および投与後一定期間は適切な避妊を行ってください。
- * 自動車運転等を行わないよう注意が必要です。主治医の指示に従ってください。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

広島市民病院薬剤部